

令和2年8月27日 00497号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

## ニュースレター【事務局情報】新型コロナ感染2名の確認で北見市武道館にも影響が！

北見市の高校で、「新型コロナウイルス」の感染者2名が確認されたことで、8月25日の新聞や経済の伝書鳩で報道されたあと、北見市武道館の利用者数にも影響がありました。少年柔道を指導する「光柔会」は25日の練習を急遽取りやめとし、慎重を期しています。また、北見地方剣道連盟では、8月25日(火)27日(木)週2回の稽古を中止とし、感染防止策をとりました。なお、9月からは通常稽古が行われる予定とのことです。(佐藤)



## 北見市武道館の屋根裏にスズメバチの巣を発見！

先週スズメバチが2匹武道館弓道場に侵入し、専用殺虫剤で駆除し、武道通信でお知らせしましたが、8月21日(金)こんどは、武道館の東側屋根裏に直径20センチほどの「蜂の巣」を見つけました。早速、北見市のスポーツ課を通し環境課に報告が上がっており、時機に駆除されるとのことですが、この時期の「蜂の巣」はとても危険ですので近づかないようにしてください。(佐藤)



## 武道振興協会事務所の花シリーズ「ツボミギボウシ」

濃色不開花の花は蕾のまま終わることからこの名が付けました。濃赤紫色の花は独特の色合いと雰囲気があります。かなり昔からあり、花が奇花であり、抜群の色合いを持っています。(渋谷)

**連載**嘉納治五郎師範の教え 柔道の教育的価値「柔道を教育に役立てることについて」<sup>⑪</sup> **乱取**とは自由稽古を意味しますが、実際の試合条件の下で行う実践です。相手を投げや絞め、固めで制し、相手の腕や脚の逆や捻りも使います。2人の対戦者は、互いに傷付けさえしなければ、柔道固有の拳措<sup>きよそ</sup>の本質である礼に基づくルールの下で、自分の好むどんな技でも掛けてよいのです。形とは文字通り“形”を意味しますが、各々の対戦者は、相手掛けてくる技を前もって承知しているルールの下で、打ち、切り、蹴り、突き等の技を、予め決められた順序に従って行う形式的なシステムです。打ちや蹴り、切り、突きの稽古は形で学び、乱取では行いません。理由はもし乱取でしたら怪我をするからです。他方、形で教える場合には、全ての攻防の技が前もって決められていますから、怪我は殆ど起こりません。乱取は色々なやり方で行うことが可能です。攻防の技の習得を目的に単純に稽古をする場合であれば、身体の発達や知育、徳育には特に配慮せず、最も効果的な投げや逆、捻り技の指導を主に行うことです。乱取では・・・**つづく**(講道館ネット配信より)